

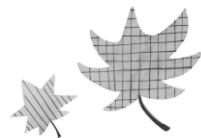
ご協力ありがとうございました

平成26年4月1日～平成26年9月30日
(敬称略・順不同)



寄付金
ラウンジ・ミンク
川合 文子
田中 千代一

募金箱
瀬川 靖子
遠山 琴枝
中井 孝子



物品販売のご案内

下記物品は、月1～2回の“なかまの店”の当番日のほか、遠山(6855-3919)でも注文をお受けします。

| 商品名 | 販売単価 | 商品名 | 販売単価 |
|------------------|------|--------------|------|
| 静岡産煎茶(200g) | 860円 | すりごま(90g) | 310円 |
| 静岡産煎茶(100g) | 430円 | 三色もろこし(150g) | 310円 |
| 万能茶(400g) | 510円 | おいしい飴各種 | 170円 |
| 発芽黒豆茶ティーパック(20袋) | 610円 | | |

秋のイベント 会場での販売

服部緑地ガレージセール 11月2日(日)
服部緑地公園



あいあいプラザまつり 9月20日(土)
稲スポーツセンター

いつも物品販売にご協力いただき、誠にありがとうございます。
平成26年4月1日～9月30日(上半期)の販売利益は、270,806円ありました。これも皆様のご協力の賜物と感謝しております。

これからもお力添えをよろしく願います。

豊中親和会後援会だより第25号 編集後記

かつて青年であり壮年であった利用者たちも、親和会の歩みと共に13年の歳月を重ね、やがて壮年から老年へと進んでいきます。

懇談会で法人は、「障害のある方には継ぎ目のない支援が必要です」とお話しくださいました。出席者として大変心強く思いました。

大多数の親が老年期を迎える今、様々な問題が目前に迫ってきていると感じずにはいられません。安心して過ごせる日中の場と家庭としての休息のホーム、この両輪を求めて行きたいと思えます。

今後とも、後援会にご支援ご協力をお願いします。

豊中親和会後援会役員一同

更新・入会のお願い 後援会賛助会員募集

賛助会員：個人年間 一口 3,000円

団体年間 一口 10,000円

寄付でのご協力もお願いします

申し込み先：豊中親和会後援会

多機能型事業所みらい内

(TEL 06-6858-6697)

郵便振替：00970-2-176038

豊中親和会

後援会だより

発行者 豊中親和会後援会
住所 〒561-0894
豊中市勝部2-19-3
多機能型事業所みらい内
電話 06-6858-6697
FAX 06-6858-6698
頒価50円

社会福祉法人親和会との懇談会報告

平成26年10月20日(月)10時30分より 障害福祉センターひまわりにおいて、予てよりの懸案でありました社会福祉法人豊中親和会と豊中親和会後援会会員との懇談会(勉強会)を開催いたしました。

法人からは、星屋理事長、吉田常務理事のお二人がご出席くださいました。後援会からは、会員皆様の思いを直接伝えられる場にしたいということで、全正会員に案内状を配布し、30名の方が出席されました。

懇談会ではたくさんの質問・意見、そのお答え等をいただきましたが、紙面の都合上勝手ながら要点をまとめて掲載させていただきました。全内容の掲載ができませんでしたことをご了承ください。

各テーマに入る前に、前川後援会会長、星屋法人理事長の挨拶があり、続いて吉田常務理事より法人の中・長期計画について説明していただきました。

法人設立より10余年、事業所の開設とその対応に追われてきましたが、家族より法人親和会の将来性を示す具体的な方針を求める声があり、この度、中・長期計画の策定に着手することになりました。

その前段階として今年の春、職員の意識調査と利用者満足度調査を終了しました。今後11月の理事会に素案をはかり、12月位に家族会に資料を配布してご意見を聞き、来年3月の理事会に提出する予定です。

計画には次の四つの重点項目を掲げています。

- ① 利用者満足度
- ② 人材の育成
- ③ 法人運営
- ④ 事業展開

各項目毎に実施項目を設け、中・長期3～5年を対象とし4年目には次期計画の策定に入ることになります。大切なことは、職員・家族・後援会三者の共通認識であり、着実に努力していくことです。

各テーマについて

☆ ショートステイ(緊急一時を含む)の開設について

理事長より、豊中市に現状の難しさを訴え、法人親和会としても開設の意思表示をし、土地の提供を申し入れていることを説明されました。

後援会員

・豊中市の他施設は申し込み多数で、希望日になかなか確保できないのが現状で、小さな規模でいいから早急に親和会で立ち上げて欲しいです。自立訓練も兼ねれば、利用者が次のステップであるグループホームにスムーズにつなげられると思います。

・みらい・第2みらいで利用者が帰った後、作業所内で緊急用のショートステイだけでもできませんか？

法人

・豊中市は住宅地として人気があり、ハード面での展開は非常に難しい。しかし、取り組まなければならないと思っています。

・みらい・第2みらいでショートステイをする場合、その為のスペースが必要な上、スタッフの確保が難しい。

☆ 自立訓練事業について

後援会員

- ・自立訓練をする場を設けて欲しいです。

法人

- ・ショートステイとの複合施設を考えています。
- ・グループホームの空き部屋を使って訓練をするという方法もあるが、現在空きがありません。

☆ グループホームについて

後援会員

- ・5、6人でメンバーを決めて、場所を確保し、お願いしたいと言ったらグループホームはできますか？
- ・グループホームは生活の場イコール家庭であり、日中活動から帰ってホッとする場所です。メンバーの決定には必要度に加え、相性など充分考慮してほしいと思います。
- ・親が高齢化して、毎日の暮らしの中でも大変な子をかかえている場合もあります。ぜひともお願いします。

法人

- ・古い民家を借りるのは、スプリンクラー・用途変更ができるか・建築基準法上の耐火構造になっているか等課題があります。また、地域との問題があり、全部クリアしたものが望まれます。
- ・メンバーのマッチングは大切ですが、常に公正であることが大切だと思っています。メンバーは必要に応じて法人が決めていきたいと思っています。
- ・条件がそろえば積極的に増やしていきたいが、職員の確保が難しい現状です。(サービス管理責任者、世話人、生活支援員)
- ・グループホームの運営手法は今後1年かけて検討してまいります。

☆ デイサービスのな日中支援の場(生活介護事業所)の開所について

後援会員

- ・高齢化していく利用者や、通所することが少ししんどくなった利用者がホッと落ち着ける場所として、20人規模くらいのデイサービスのな小規模事業所の開設をお願いします。

法人

- ・デイサービスのなちょっとホッとしたい事業所がほしいのはわかりますが、経営上みらい、第2みらいと同じ規模の生活介護事業所をもう1ヶ所作ることを、真剣に考えています。そうすれば、3ヶ所で職員の異動等もでき、運営基盤(財政基盤)が充実することによって、組織の活性化が促進されます。
- ・入手した物件により、用途を考えることもあります。

☆ 支援センターの充実

後援会員

- ・移動支援の利用がガイドヘルパーの不足からか、希望日にかなえられません。
- ・グループホームに対する基本的な知識を持つ支援者の育成を願います。

法人

- ・人材育成は法人の責務である。漫然とした研修ではなく具体的、個別的に必要な即した研修をしていきたいと思っています。
- ・6月の本部の移転により場所的な問題は解決したので、今後法人の顔といえる相談事業に力を入れていくつもりです。
- ・就労移行支援事業所“ふつーる”は職員が頑張っって多くの利用者を就職につなげたので、結果的に利用者が少なくなりました。利用者の確保もむずかしい。しかし最低基準の職員は必要です。

12月には、法人より中・長期計画の素案の資料が配布される予定とのこと。今回の懇談会報告が資料をご覧になる折の参考になれば幸いです。

みらい

作ろう！売ろう！自主製品

多機能型事業所 みらい 主任 柘川 悦子

利用者さんと一緒に作り上げた商品が、出店先でお客様と触れ合いながら、一つひとつ売れるたびに「有難うございます」「また、お願いいたします」と、利用者さんの元気な声が響きます。

みらいは開設当初から、「がんこ」さんから「箸置き」の注文をいただき、現在も、月 3000 個の納品をしています。多い時は 4000～6000 個の注文があり、作業に追われながら、日々奮闘しています。

織りに関しては、慣れない職員が色々調べながら努力してまいりましたが、なかなか利用者さんにうまく伝えることができず、今年度からは、講師をお願いして、利用者・職員への技術向上にご尽力いただいています。縦糸の作り方、巻き方、織り方などを伝授いただくお蔭で、利用者さんの織は、この世に一つだけの素晴らしい作品に生まれ変わります。

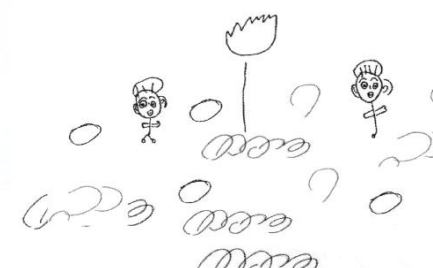
さらに、新しい商品として紙漉きのカードケース・はがき・一筆箋、織りを使ったストラップ・クミボタン等があります。このような商品の販路促進のため、新しく千里中央にある「人件費不要のアンテナショップ」が宣伝文句のフリマボックスへの出品。また、池田の「とよのびあ」の在庫管理や商品の入れ替えなどに利用者さんと訪れたり、福祉の店「なかま」や豊中市職員幹旋販売等に出品させていただいています。注文、販売があるたびに利用者さんと一緒に喜び、次はどんな作品にするか、「あんなもいいいんじゃない」「こんなはどう？」などと話し合いながら、これからも愛される作品づくりを目指していきたいと思っています。



豊中親和会 スポーツフェスタ 2014

平成26年10月10日(金) 会場 豊島体育館

今年は午後からの開催でしたが、おおぜいの家族が応援にかけつけられ、にぎやかなスポーツフェスタとなりました。



～プログラム～

- はじまりの挨拶
- ラジオ体操
- 1. 玉入れ
- 2. パン取り競走
- 3. リズム体操
- 終わりの挨拶